

2022年8月22日

— SDGs への取組みを推進 —
長崎県における「フードドライブ活動」の開始について
 ～ 子供たちの豊かな生活づくりのために ～

西日本シティ銀行（頭取 村上 英之）は、筑紫地区、北九州地区、本部・本店営業部、筑豊地区につづき、2022年8月22日から長崎県でも「フードドライブ活動※1」（以下「本活動」）を開始しますので、お知らせします。

長崎県での本活動は、一般社団法人フードバンク協和※2（理事長 加城 敬三、以下「フードバンク協和」）を通じて、ながさき子ども食堂ネットワーク※3（代表 小西 祐馬）をはじめとした子ども支援団体などに食材を提供します。

当行は、今後も、地域の子どもたちの豊かな生活づくりを支援する活動として、本活動を他の地区や部署の役職員に順次展開し、地域の皆さまとともにSDGsへの取組みを推進してまいります。

記

■ 活動概要

<p>概 要</p>	<p>当行の役職員が家庭で使いきれない食材を実施店舗に設置する“フードボックス”に持ち寄り、2月・5月・8月・11月の3か月に1度、子ども支援団体などに食材をお届けします。</p> <p style="text-align: right;">【フードボックス】</p>  <p><対象食材> お米、缶詰、インスタント食品など未開封で賞味期限がお届け時に1か月以上残っている常温保存が可能な食品</p>
<p>実施店舗</p>	<p>長崎支店、佐世保支店、諫早支店</p>
<p>開始時期</p>	<p>2022年8月22日（月）〔初回食材提供 2022年11月21日（月）〕</p>
<p>達成を掲げるSDGs項目</p>	

- ※1 フードドライブ活動は、役職員が家庭などで使いきれない食材を集め、福祉団体やフードバンクなどを通じて、必要としている子どもたち等に食材を寄付する取組みです。
- ※2 「フードバンク協和」は、長崎県地場の食材卸を営む協和商工(株)（代表取締役社長 加城 一成）が、『もったいない』を『おいしい』に」の考えのもと、本業を活かした地域貢献活動の一環として、2017年に設立した一般社団法人です。企業や個人から食品の提供を受け、その食品を必要としている子ども食堂や福祉施設・団体に届けるフードバンクシステムを構築しています。
- ※3 「ながさき子ども食堂ネットワーク」は、長崎県内で子ども食堂を運営する個人、団体が情報交換などを行う場として、2017年に設立されました。ネットワークには2022年7月末時点で長崎県内37ヵ所の子ども食堂が所属しています。

■ 当行におけるこれまでのフードドライブ活動の取組み

実施エリア	開始時期	実施店舗	連携団体	食材持込実績 2022年 8月21日現在
筑紫地区	2021年8月	西日本シティ銀行 筑紫地区10カ店	チャイルドケアセンター	377.86kg
北九州地区	2021年12月	西日本シティ銀行 北九州地区38カ店、3拠点	フードバンク北九州 ライフアゲイン	586.86kg
本店営業部・本部	2022年4月	西日本シティ銀行 本店営業部・本部各部	フードバンク福岡	126.50kg
筑豊地区	2022年7月	西日本シティ銀行 筑豊地区10カ店、1拠点	フードバンク飯塚	初回受渡 8月25日(木)
長崎県【本件】	2022年8月	長崎銀行 長崎県内13カ店、1拠点 西日本シティ銀行 長崎県内3カ店	フードバンク協和	—
合計				1,091.22kg

以上

本件に関するお問い合わせ先
広報文化部 渡・植山 TEL 092-461-1869